

問1 宮崎県北部に位置し、大正期に創業した化学繊維・化学薬品メーカーの工場群を中心に、特定の企業グループが地域経済の基盤を支える企業城下町として発展した工業都市はどこか。近年では、産業の多角化を目指し、地元の中小企業が大学等と連携して新分野へ進出する試みや、工場群の夜景を観光資源としてアピールする地域活性化の取り組みが行われている。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. 釜石市 2. 延岡市 3. 豊田市 4. 日立市

問2 アメリカ合衆国のミシシッピ川河口部に位置し、中西部の農業地域から運ばれる穀物の輸出港としての役割や、メキシコ湾岸で産出される石油・天然ガスの精製・流通拠点としての役割を持つ、ジャズの発祥地としても知られる港湾都市はどこか。 (2010年 全国公立入試 類似)

1. フィラデルフィア 2. ニューオーリンズ 3. インディアナポリス 4. サンフランシスコ

問3 中国東北部の黒竜江省に位置するある都市は、1950年代末に国内最大級の油田が発見されたことを契機に建設され、石油の採掘や精製などの関連産業が集中する代表的な鉱工業都市として急速に発展した。この都市の名称として最も適当なものを答えよ。 (2016年 全国公立入試 類似)

1. 撫順 2. 鞍山 3. 大慶 4. 包頭

問4 日本の地方都市や郊外において、モータリゼーションの進展に伴い、自家用車でのアクセスを重視して主要な幹線道路の沿線に多く立地する、広大な駐車場を併設した商業形態を何というか。 (2021年 全国公立入試 類似)

1. ロードサイド店舗 2. スーパーマーケット 3. ショッピングセンター 4. コンビニエンスストア

問5 千葉県香取市の小野川沿い周辺は、江戸時代から利根川の水運を利用した物資の集散地として栄えた歴史的な中心地である。この地域では、近代以降のモータリゼーション（自動車交通の普及）に伴い、利根川本流に多くの橋が架けられた。これによって、それまで兩岸の往来を支えていたが、近代以降に急速に減少・代替されることとなった、河川を渡るための伝統的な交通手段を何というか。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. 川船 2. 伝馬 3. 渡船 4. 通船

問6 メキシコが、隣国であるアメリカ合衆国やカナダとの間で1994年に発効させた、域内の関税撤廃などを定めた協定は何か。この協定の締結以降、メキシコにおける工業化が進展し、アメリカ合衆国が輸出入ともに圧倒的に最大の貿易相手国となった。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 中米自由貿易協定 2. 米州自由貿易地域 3. 南米共同市場 4. 北米自由貿易協定

問7 地中海沿岸地域における農作物の分布について、北アフリカの乾燥帯やオアシス周辺で主に栽培され、耐乾性が非常に強く、その果実が重要な食料源となる植物は何か。 (2019年 全国公立入試 類似)

1. アルファルファ 2. ナツメヤシ 3. モロコシ 4. ソルガム

問8 1960年代以降、アジアなどの発展途上国において、米や小麦などの品種改良、灌漑設備の整備、化学肥料や農薬の多投などによって土地生産性を飛躍的に向上させた農業技術上の変革を何というか。この変革は多額の資本を必要としたため、富裕な農層や商業的農業地域を中心に普及し、地域間や階層間の経済的格差を拡大させる要因ともなった。 (2012年 全国公立入試 類似)

1. 青い革命 2. 白い革命 3. 農業革命 4. 緑の革命

問9 製造過程で重量が著しく減少する原料を使用するため、製品輸送費に比べて原料輸送費の割合が大きくなる場合に、原料産地の近くに工場を立地させることで総輸送費を最小に抑えようとする工業の立地タイプを何というか。 (2021年 全国公立入試 類似)

1. 原料指向型工業 2. 電力指向型工業 3. 市場指向型工業 4. 臨空指向型工業

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 2 延岡市	宮崎県延岡市は、旭化成の工場群を中心に発展した日本を代表する化学工業の企業城下町である。特定の企業への依存度が高いため、企業の構造調整や海外移転による地域経済への影響を緩和すべく、産学官連携による新産業の創出や、工場夜景をはじめとする観光資源の活用による地域活性化が推進されている。
問2	答え 2 ニューオーリンズ	ミシシッピ川の河口部に位置するニューオーリンズは、背後の広大な農業地域から河川交通を利用して集まる小麦やトウモロコシなどの農産物の主要な積出港である。また、メキシコ湾岸油田に近いため、石油化学工業や天然ガスの精製・流通拠点としても発展している。文化的にはジャズの発祥地としても有名である。石炭の積出港としては、アパラチア炭田に近い東海岸のハンプトンローズなどが知られており、これらとの混同に注意が必要である。
問3	答え 3 大慶	中国東北部に位置するこの都市は、1950年代末からの油田開発に伴って建設された代表的な鉱工業都市（資源都市）である。石油の採掘や精製などの石油関連産業が極めて盛んであり、中国の工業化を支える重要なエネルギー供給基地となった。選択肢に想定されるコースは地中海沿岸の保養・観光都市、パナマシティは運河交通都市、モントリオールはカナダの主要な商業・文化都市であり、鉱工業都市としての特徴を持つ大慶とは都市機能が異なる。
問4	答え 1 ロードサイド店舗	地方都市や大都市の郊外では、自家用車の普及（モータリゼーション）に伴い、公共交通機関の駅周辺よりも、幹線道路沿いの方が自動車でのアクセスが容易になる。そのため、広い敷地を確保して大規模な駐車場を併設した店舗が道路沿いに多く進出した。このような立地特性を持つ商業形態をロードサイド店舗と呼ぶ。これに対し、都市の中心部には百貨店が、住宅街やオフィス街にはコンビニエンスストアがそれぞれ立地する。
問5	答え 3 渡船	利根川下流域に位置する地域では、かつて兩岸を結ぶ交通手段として各地に渡船（渡し船）が多数存在し、人々の移動や物資の輸送を担っていた。しかし、昭和期以降のモータリゼーションの進展に伴い、自動車が通行可能な橋が次々と架けられたため、渡船は次第に姿を消し、陸上交通へと移行していった。
問6	答え 4 北米自由貿易協定	1994年にアメリカ合衆国、カナダ、メキシコの3国間で発効した北米自由貿易協定（NAFTA）により、域内の関税が原則的に撤廃されました。これにより、メキシコは安価な労働力を活かしてアメリカ合衆国向けの輸出拠点を形成し、同国との貿易依存度を極めて高くすることになりました。なお、NAFTAは2020年に米国・メキシコ・カナダ協定（USMCA）へと移行しています。
問7	答え 2 ナツメヤシ	乾燥に非常に強く、北アフリカの乾燥地域やオアシス周辺、西アジアなどで広く栽培されている。その果実はデーブと呼ばれ、栄養価が高く保存性に優れているため、砂漠地域における人々の貴重な主食やエネルギー源となってきた。
問8	答え 4 緑の革命	1960年代から発展途上国で進められた農業技術の変革は、穀物の生産性を劇的に向上させた。しかし、高収量品種の種子や化学肥料、農薬の購入、灌漑施設の整備などには多額の資金が必要であったため、資金力のある富裕な農民や商業的農業地域に普及が偏り、貧困層や自給的農業地域との間で経済的格差が広がるという社会問題も引き起こした。
問9	答え 1 原料指向型工業	原料の重量が製品の重量よりも重い場合（重量減損原料を使用する場合）、原料をそのまま市場まで運ぶよりも、原料産地で加工して製品にしてから市場へ運ぶ方が、全体の輸送費（総輸送費）を安く抑えることができる。このような立地選好性を持つ工業を原料指向型（原料志向型）工業と呼び、セメント工業やパルプ工業などがその代表例である。